



沖縄MICEその先へ

～沖縄版感染症対策業界別ガイドライン集～



「はじめに」

沖縄におけるMICEは、豊かな自然環境と独自の歴史や文化に育まれてきた人や空気感、国内外へのスムーズなアクセスや充実したMICE施設など、訪れる人の記憶に残るMICE destinationsとして世界中から選ばれてきました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大により、MICE本来の醍醐味である国を越えた、人と人、知識や文化の直接的な交流が制限され「新しい生活様式」の環境下で、新しいMICEの形が求められています。

沖縄MICEネットワークでは、感染症対策も含めた沖縄MICEの「今」の取り組みをMICE主催者・参加者の皆様、MICE企画企業等の皆様に伝える「沖縄MICEその先へ～沖縄版感染症対策業界別ガイドライン集～（以下本ガイドライン）」を作成し、安全・安心な受入環境の下、ウィズコロナ～ポストコロナに向けた沖縄独自の取り組みを発信してまいります。MICE開催における感染症対策強化に、主催者と県内MICE事業者がより一層の責任を持ち、一体となって取り組むことで、MICE復興への新しい一歩をここ沖縄で確実に踏み出す、その一助に本ガイドラインをご活用いただければ幸いです。

なお本ガイドラインは、今後の感染状況や国や県の方針変更等に伴い、随時修正・更新を行ってまいります。

About 沖縄MICEネットワーク

Mission

「MICEを通じた知的・ビジネス交流の促進」や「MICEの活用・推進による県経済・産業の活性化」による沖縄振興を実現する

Vision

多様な関係者が産学官の活動領域や産業分野の垣根・競合関係を越えて互いに連携・協働した取り組みを推進する全県的なMICE振興の牽引役となる

Value

経済界、業界団体、大学、行政機関等の関係者がMICEの意義や効果を再認識し、MICE振興に係る様々な課題の解決に向けて、一丸となって取り組む

Our members

220企業・団体(個人含む) ※2022年10月現在

MICE関連団体やMICE施設をはじめ、製造業や不動産業に及ぶまで多種多様な業界から産学官を問わず参画

「沖縄MICEネットワーク」について

<https://www.okinawamicenetwork.jp/>



ひらめきや創造性と出会う場所



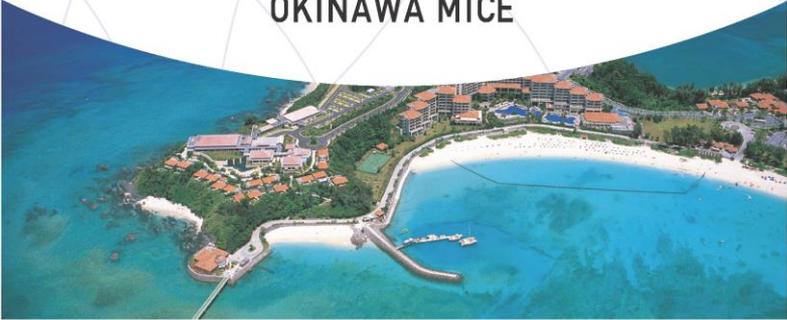
OKINAWA
Japan
Where inspiration meets

世界のビジネスは、MICEで活気づいています。
それはいつものオフィスから離れた場所で行う
ミーティング、会議、視察旅行、学会、展示会などの総称で、日本でも盛んに開催されています。

その開催地は、沖縄を。
日本とアジアの間にあるこの島は、国を、人を、英知をつなぎ、
新たな価値を創造する架け橋として役割を果たしてきました。
そしていま沖縄は、あなたのビジネスを未来へとつないでいきます。

非日常の空間で最先端の発想を、心躍るひらめきを。
ビジネスに変化をもたらす旅を沖縄で感じてみては。
MICEを迎え入れる環境は万全です。そして今なお進化を続けています。
沖縄は、あなたのビジネスの力になる。

ビジネスが、新しい閃きと出会う日。
OKINAWA MICE



【MICE開催地として沖縄が選ばれる理由】

① 寛容なヒトと土地

アジアの海邦交流拠点として栄えた琉球王国。あらゆる垣根を越え、訪れる全ての人を受け入れる「万国津梁の精神」が受け継がれる島。

② 自然豊かなリゾート

独自の歴史、文化、自然環境を持つ「癒しの空間」。ひらめきや独創性、特別な体験を提供。

③ アジアと繋がるビジネス交流拠点

日本やアジアを含む約20億人の市場へアクセス可能なMICE都市。亜熱帯・海洋島嶼型の先進課題研究が集積。MICE参加者のビジネス・研究を発展させる環境。

本ガイドラインの使い方

MICE主催者の皆様

沖縄でMICEを検討・開催する際の、現地における感染症対策の確認、参加者・関係者への情報共有、注意喚起などにご活用ください。また、巻末資料として感染症対策に特化した「主催者用チェックリスト」を付帯しました。MICEのシチュエーションごとの確認にご利用ください。

MICEプランナーの皆様

本ガイドラインは各ページ抜き取りが可能なため、MICE主催者への企画提案時、行程作成時等の現地における感染症対策の周知等にご活用ください。

MICE受入事業者の皆様

コロナ禍の本県MICE受入れにおける各シチュエーション、事業者ごとの感染症対策を把握し、MICE主催者、参加者が安全・安心に沖縄で過ごせる環境整備、取り組み強化にご活用ください。また、巻末資料として感染症対策に特化した「受入事業者用チェックリスト」を付帯しました。MICEのシチュエーションごとの確認にご利用ください。

沖縄県内での新しい生活様式でのMICE開催について催事別に動画をご用意しています。
本ガイドラインと合わせてご活用ください。

おきなわMICE 安全・安心の沖縄へようこそ「OKINAWA MICE NEW NORMAL」

<https://mice.okinawastory.jp/planners/movie/>



沖縄県観光危機管理計画について

沖縄県では「沖縄観光危機管理基本計画」・「沖縄県観光危機管理実行計画」に基づき、感染症を含む健康危機等、様々な観光危機に対し、「平常時」「危機発生前」「危機発生時」「危機後」において、MICE事業者を含む観光関連事業者の具体的な取り組みを定めています。本県への国内外来訪者の命を守るための減災対策から危機時の情報発信、安全・安心の確保、確実な帰宅支援まで、沖縄県、県内市町村、県内観光関連団体・事業者が連携し安全・安心・快適な沖縄観光ブランドの構築による世界水準の観光・MICEリゾート地「沖縄」の形成に取り組んでいます。

沖縄県観光危機管理公式HP
<https://tcm.ocvb.or.jp/>



感染症禍の開催について

※開催につきましては、以下を参考に出発地並びに沖縄県の対処方針に応じてご検討をお願いします。
 ※キャンセルポリシーにつきましては、関連事業者に直接お問い合わせください。

フェーズ	状況	開催可否	確認事項
フェーズ0	国内全ての都道府県において往来が可能で、緊急事態宣言もしくはまん延防止等重点措置が出ていない	開催	<input type="checkbox"/> 沖縄県における状況に沿った感染症対策の徹底 <input type="checkbox"/> 関係者、参加者のワクチン接種有無の確認 <input type="checkbox"/> ワクチン未接種者へのPCR検査の実施
フェーズ1	沖縄県で緊急事態宣言もしくはまん延防止等重点措置が発令されている	条件付き開催又は延期や中止を検討 ※十分な感染症対策、主催者、受入側で緊急時体制が取られているなど安全を担保したうえで開催を検討する	<input type="checkbox"/> 沖縄県HP「イベントの開催制限等について」の確認 <input type="checkbox"/> ハイブリッド開催の検討 <input type="checkbox"/> 各施設等のキャンセルポリシーを確認 <input type="checkbox"/> 沖縄県における状況に沿った感染症対策の徹底 <input type="checkbox"/> 関係者、参加者のワクチン接種有無の確認 <input type="checkbox"/> ワクチン未接種者へのPCR検査の実施
	出発地で緊急事態宣言もしくはまん延防止等重点措置が発令されている		<input type="checkbox"/> 出発地における旅行等制限事項の確認 <input type="checkbox"/> ハイブリッド開催の検討 <input type="checkbox"/> 各施設等のキャンセルポリシーを確認 <input type="checkbox"/> 沖縄県における状況に沿った感染症対策の徹底 <input type="checkbox"/> 関係者、参加者のワクチン接種有無の確認 <input type="checkbox"/> ワクチン未接種者へのPCR検査の実施
フェーズ2	全国で緊急事態宣言が発令	条件付き開催又は延期や中止を検討 ※本ガイドライン等に基づく感染防止対策を十分に講じることができない場合は、開催中止、又は延期等を慎重に検討する	<input type="checkbox"/> 沖縄県HP「イベントの開催制限等について」の確認 <input type="checkbox"/> 出発地における旅行等制限事項の確認 <input type="checkbox"/> ハイブリッド開催の検討 <input type="checkbox"/> 各施設等のキャンセルポリシーを確認 <input type="checkbox"/> 沖縄県における状況に沿った感染症対策の徹底 <input type="checkbox"/> 関係者、参加者のワクチン接種有無の確認 <input type="checkbox"/> ワクチン未接種者へのPCR検査の実施

沖縄県のこれまでの取り組み

沖縄 Tour Style With コロナ ～旅行者の安全・安心アクションプラン～

「旅行者の安全・安心アクションプラン 沖縄Tour Style Withコロナ」は、ウィズコロナ時代における望ましい観光のあり方を見据えつつ県民が安心して旅行者を迎え入れ、旅行者が少しでも安全・安心に沖縄観光を楽しんでもらうことを念頭に、県と観光関連業界だけではなく、医療界の疫学的意見も参考に官民一体となって策定した。

【対象】 旅行者、来訪者、県民、観光事業者

- 【取組】
1. 水際対策と市中感染拡大防止策の取り組み
※詳細はP9～P12に記載
 2. 旅行者視点・旅行行程に沿った対策の整理
 3. 情報の発信の取り組み
 4. 各主体の役割の整理



沖縄県のこれまでの取り組み

RICCA（リッカ） 沖縄県-新型コロナ対策パーソナルサポート

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止。
県民や観光客に安心して施設やイベント会場などを利用してもらうための取り組み。
施設としてだけでなく催事としてもQRコードの発行を推奨しています。

① QRコードの発行申請

WebフォームからQRコードの発行申請をする。



② QRコードの掲示

発行されたQRコードを施設等に掲示して、利用者に読み取りを呼びかける。



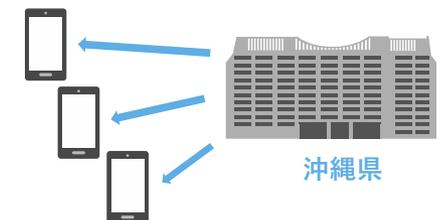
③ QRコード読み取り

利用者は施設等を訪れたときにQRコードを読み取る。



④ 沖縄県からのお知らせ

同じ施設等の利用者に新型コロナウイルスの感染が確認され、県が不特定の方への感染の恐れが高いと判断した場合に対象者にLINEメッセージでお知らせする。



登録用QRコード

<https://line.me/R/ti/p/%40524ufyeo>



沖縄県のこれまでの取り組み

旅行者専用相談センター沖縄（TACO）の設置 （Traveler's Access Center Okinawa）

新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡大防止を図るため、関連情報を収集、伝達共有、発信するとともに、旅行者の相談支援体制を整備する。

【対象】 県民を含む旅行者

- 【内容】
- ① 空港における発熱者対応
 - ② 旅行中の健康相談に関するコールセンター
 - ③ 感染懸念者サポート
 - ④ 県内旅行事業者と連携した情報共有・発信



- ⑤ お問い合わせ

電話 098-840-1677
営業時間 8:00～21:00 [無休]



※台風発生時は、時間短縮や臨時的に業務停止となる場合もございます。

沖縄県のこれまでの取り組み

那覇空港、離島空港におけるPCR検査及び 那覇空港における抗原検査について



沖縄県に来訪する際、出発地において事前のPCR検査を受けていない方で、希望者を対象に那覇空港においては抗原検査・PCR検査、県外からの直行便の就航する離島空港においてはPCR検査を事前申込で実施します。(要事前申し込み)

	那覇空港	その他離島空港
対象	航空便を利用し那覇空港に到着する渡航者で検査希望者及び那覇空港から県内離島空港へ出発、離島空港から出発する方で希望者	航空便を利用し離島空港(宮古空港、下地島空港、新石垣空港、久米島空港)に到着する渡航者で検査希望者及び離島空港から出発する方で希望者
実施期間	令和3年2月3日～令和4年10月31日	
受検可能検査	PCR検査、抗原検査	PCR検査
実施場所/ 検査実施時間	検体採取ルーム(那覇空港国内線ビル内1Fミーティングルーム)/9:00～20:00	宮古空港(一般駐車場向け通路途中の広場) /9:00～20:00 下地島空港(一般駐車場向け通路側) /9:00～18:00 新石垣空港(国内線旅客ターミナルビル内) /9:00～20:00 久米島空港(国内線旅客ターミナルビル内) /9:00～18:00
検査機関	(株)沖縄臨床検査センター	ミタカトレード沖縄支社(沖縄PCR検査センター)
申込先URL	https://okinawa-pcr-rinsyo-center.com/nahakuukou-pcr-kensa-project/	宮古空港(https://coubic.com/pcr-yoyaku/542928) 下地島空港(https://coubic.com/pcr-yoyaku/632033) 新石垣空港(https://coubic.com/pcr-yoyaku/909627) 久米島空港(https://coubic.com/pcr-yoyaku/910003)
お問い合わせ	電話：098-840-1337	以下URLから専用サイトへアクセスの上、各離島空港へお問い合わせください。 https://www.okinawastory.jp/covid19/travel_support/

	PCR検査	抗原検査 ※那覇空港のみ
検査費用	4,000円(県内在住者は無料※飛行機ご利用の方のみ対象) 現地にて現金、クレジットカード、電磁マネー一部対応可。県内在住者かどうかの確認のため、受付にて免許証等の証明書の提示が必要。	2,000円(沖縄県民無料は8月以降も延長) 現地にて現金、クレジットカード、電磁マネー一部対応可。県内在住者かどうかの確認のため、受付にて免許証等の証明書の提示が必要。
その他	各自検体採取キットに唾液を取り、その場で提出。 結果は、基本的に午前中採取分は当日中、午後採取分は翌日(午後)に連絡お知らせ。	各自検体採取キットを使用し鼻腔ぬぐい液を取り、その場で提出。結果は、30分程度でお知らせ。結果お知らせまでの間、那覇空港施設内で待機ください。陽性判定の方は、別会場でPCR検査(無料)を受検いただきます。

沖縄県のこれまでの取り組み

沖縄県感染防止対策徹底宣言ステッカー (シーサーステッカー)

事業者向けに、事業者が実施すべき感染防止対策を掲載したチェックシートを作成。RICCAからチェックシートにある感染防止対策を全て実施すると、「沖縄県感染防止対策徹底宣言ステッカー(シーサーステッカー)」を取得。「シーサーステッカー」を店舗等の目立つところに掲示することで、県民及び来訪者が安心して利用できる施設であることをお知らせする。※事業者登録についてはP9を参照ください。



沖縄県感染防止対策認証制度

事業者が実施する感染防止対策について、県が認証する制度を設けることにより県民及び来訪者が安全に安心して対象施設を利用できるようにする。

【対象事業者】 飲食店等、宿泊施設



<https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/kansen/taisaku/okininsho.html>



感染症対策下におけるMICE開催事例紹介

「ツーリズムEXPOジャパン 旅の祭典in沖縄」(2020年10月29日～11月1日)
主催：日本観光振興協会、日本旅行業協会、日本政府観光局

【内容】 新しい生活様式下での安全安心なイベントのモデルを示すとともに、落ち込んだ観光需要復活に向け、新しいツーリズムのカタチを沖縄から発信した。コロナ発生後世界初の旅行博、国内外のメディアから高い評価を受けた。世界30の国と地域、285の企業・団体が出展し、会期中の来場者数は24,174人(4日間合計)を記録した。

【対策内容】 基本的なコロナ対策を全て実施。事前登録制としCOCOA・RICCAを活用し入場者の後追い体制も整備。来場者数を的確に管理するため独自のアプリを開発し、QRコードでの入場管理を実施。商談会、各ブースではフェイスガードやパーテーションの活用。海外セラーはオンライン商談も行っていった。

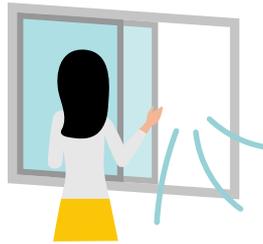


基本的な感染防止対策



3つの密の回避

多数が集まる密集場所、間近で会話や発声をする密接場面、換気の悪い密閉空間への対策を講じる。ただし、変異株は3つの密がそろわなくても感染事例あり。



頻繁な換気

こまめに室内の空気の入替えを行う。目安としては1時間ごとに10分程度。可能であれば2方向の窓を開けるなど、空気の流れを作る。



手洗いなどの手指衛生

水と石鹸で30秒程度かけて丁寧に洗う。こまめなアルコール系消毒剤（70%以上）の使用 ※アルコールアレルギーの人のための代替品の準備。



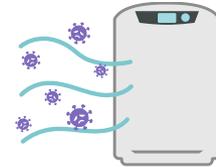
スタッフ・MICE参加者の健康チェック

会場入場時、休憩時など、定期的に体温のチェックや、体調観察を行う。



マスクの着用

外出時、屋内にいるときや会話をするときは、症状がなくてもマスクを着用する。大声を出さない。※屋外で間隔があげられればマスクは外してもよい。



専用機器等の導入

換気設備や空間清浄機器などを設置し、人力を補完する対策を取る。

感染対策ができない理由のある人への理解

病気や様々な理由から、アルコールを含んだ消毒液の使用ができない、マスクの着用ができない人たちがいます。代替品の準備、意思表示バッジ等の準備など、一方的ではない感染対策を心がけましょう。

沖縄の最新感染防止対策情報はこちら

沖縄観光情報WEBサイト「おきなわ物語」
新型コロナウイルス感染防止対策サイト

<https://www.okinawastory.jp/covid19>



沖縄MICE開催前の確認

01 開催計画時

【主な確認事項】

- ・「沖縄県対処方針」の確認
- ・沖縄県HP「イベントの開催制限等について」の確認
- ・参加者が5,000人超かつ収容率50%超のイベント開催する場合、沖縄県へ感染防止安全計画の提出(実施後は結果報告が必要)
- ・接触確認アプリ等の活用

沖縄県HP
「イベントの開催制限等について」



<https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/chijiko/kohokoryu/koho/20200828.html>

02 出発前



【主な確認事項】

- ・関係者、参加者の感染症防止対策の徹底、ワクチン接種有無の確認
- ・ワクチン未接種者へのPCR検査の実施
- ・沖縄県新型コロナウイルス感染症特設サイトの確認

沖縄県HP
「新型コロナウイルス感染症特設サイト」



https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/chijiko/kohokoryu/koho/2020_new_corona_potat.html

沖縄MICE受入事業者の対策

掲載ガイドラインは業界ごとのものになっています。各受入事業者で独自のガイドラインに基づいて対策している場合がございますので、詳細については直接ご確認ください。

03 空港・航空機内

【主な取り組み】

- ・ 航空会社、空港のHP、SNS、ポスター、デジタルサイネージ等を活用した注意喚起
- ・ 各所において可能な限り換気を行い「三つの密」の回避、高頻度接触部位のこまめな消毒、機内における感染拡大防止策
- ・ 飛行中に機内の全空気が約3分で常時入れ替わり換気
- ・ マスク着用の要請
- ・ 機内消毒の徹底
- ・ 航空会社、空港のHP等による事前周知

航空分野における
新型コロナウイルス
感染予防対策ガイドライン



<http://teikokyo.gr.jp/information/746/#section-1>

04 到着後



【主な取り組み】

- ・ 旅行者専用相談センター沖縄（TACO）の設置。
 - ・ 那覇空港、離島空港におけるPCR検査及び那覇空港における抗原検査の実施。
- ※詳細はP11に記載

県のPCR検査等について



https://www.okinawastory.jp/covid19/travel_support/

沖縄MICE受入事業者の対策

掲載ガイドラインは業界ごとのものになっています。各受入事業者で独自のガイドラインに基づいて対策している場合がございますので、詳細については直接ご確認ください。

05 移動



① ゆいレール

【主な取り組み】

- ・ 消毒液の設置
- ・ 券売機、改札機、手すり等の定期的な消毒
- ・ 車両は、薬剤による定期的な消毒および換気のため客室窓を開けて運転を実施

ゆいレール
新型コロナウイルス
感染拡大防止対策



<https://www.yui-rail.co.jp/important/3955/>

② ハイヤー・タクシー

【主な取り組み】

- ・ 乗務員の健康管理等チェック
- ・ 乗務中は定期的に、タクシー車内の消毒
- ・ 換気及び手洗い、うがい、手指消毒を行う

沖縄県ハイヤー・タクシー協会
新型コロナウイルス
感染防止対策



<http://www.oki-taxi.or.jp/>

③ 貸切バス

【主な取り組み】

- ・ 乗務員の体調管理
- ・ 車内の感染防止対策の確認及び対処
- ・ 旅行会社と連携し、利用者への感染症対策への協力要請を行う

貸切バスにおける
新型コロナウイルス
対応ガイドライン



<https://www.bus-okinawa.or.jp/>

④ 乗合バス

【主な取り組み】

- ・ 車内の通気の確保
- ・ 吊革、手すりをはじめとした車両の消毒
- ・ 一部座席を閉鎖するなど距離の確保
- ・ お客様への協力呼びかけ

乗合バスにおける
新型コロナウイルス
対応ガイドライン



<https://www.bus-okinawa.or.jp/>

沖縄MICE受入事業者の対策

掲載ガイドラインは業界ごとのものになっています。各受入事業者で独自のガイドラインに基づいて対策している場合がございますので、詳細については直接ご確認ください。

05 移動



⑤ レンタカー

【主な取り組み】

- ・ 事業所における十分な感染拡大防止策
- ・ 従業員の感染予防対策の徹底
- ・ 1グループ1人または少人数での入店の呼びかけ
- ・ 車両の使用前後の消毒の徹底
- ・ 感染防止対策を示したHPやチラシの掲示、配布

沖縄県レンタカー協会
新型コロナウイルス
感染症予防対策
ガイドライン



<http://www.oki-ren.com/>

06 宿泊



【主な取り組み】

- ・ ロビー、大浴場、食事処・レストラン等、多くの宿泊客が同時に利用する場所での感染防止対策
- ・ 施設及び客室の換気
- ・ 施設内の定期的な消毒
- ・ モバイルチェックイン、キーレスシステムの導入など非接触による取り組み強化
- ・ 感染症対策文書の配布や動画の紹介等の導入

沖縄県ホテル旅館生活
衛生同業組合
新型コロナウイルス
感染症対策ガイドライン



<http://www.oah-net.or.jp/news/index.cgi?mode=list&pline=25&lline=0>

沖縄MICE受入事業者の対策

掲載ガイドラインは業界ごとのものになっています。各受入事業者で独自のガイドラインに基づいて対策している場合がございますので、詳細については直接ご確認ください。

07 MICE施設

① 展示会・会議施設

〔主な取り組み〕

- ・一度に入場できる人数を制限する
- ・入場時に発熱者等が発生した場合の対処のため、開催施設の出入り口付近に隔離スペースの設置
- ・消防法を順守しつつ、来場者が密を避けることができるよう、最低通路幅は3メートルまたはそれ以上を推奨
- ・出展マニュアルにおける細かな感染防止策、また感染疑い、発症者が出た際の対応についての記載
- ・飲食物提供時における対策と注意喚起

(一社)日本コンgres・
コンベンション・ビューロー(JCCB)
新型コロナウイルス対応ガイドライン



<https://jccb.or.jp/topics/2021/12/22/1081/>

展示会感染拡大予防ガイドライン
(一般社団法人日本展示会協会)



<https://www.nittenkyo.ne.jp/caution-jp/311>

事例紹介 万国津梁館 (MICE施設)



<https://www.shinryokan.com/index.jsp>

対策内容 岬に位置したオーシャンビューの景色の中で、プライベート感満載の独立型MICEの実施が可能。オープンエアーの建物で海風を取り入れた3密回避のセッティングなど。

実施事例 感染症防止対策を徹底した、200名規模のアコースティックライブ、100名規模のハイブリット形式で学術会議等の実施。

事例紹介 ガンガラーの谷ケイブカフェ (ユニークベニュー)



<http://www.caveparty.jp/>

対策内容 天然の鍾乳洞を生かしたユニークベニュー。半屋外という立地で自然環境の中での換気対策が可能。貸切利用により、他利用者との接触回避も可能。

実施事例 感染症防止対策を徹底した飲食を伴うインセンティブパーティー 200名規模のコンサート等の実施。

沖縄MICE受入事業者の対策

掲載ガイドラインは業界ごとのものになっています。各受入事業者で独自のガイドラインに基づいて対策している場合がございますので、詳細については直接ご確認ください。

07 MICE施設

②スポーツ・イベント施設

【主な取り組み】

- ・国や都道府県の催物の開催制限、施設の使用制限等を遵守し、その取組を施設HPで公表又は施設内への掲示等を行う
- ・利用者の連絡先、当日・利用前2週間の体調の確認、COCOAやRICCAなどの通知サービスの活用呼びかけを行う
- ・施設利用における三密の回避

スポーツ関係の新型
コロナウイルス感染拡大
予防ガイドライン
(スポーツ庁)



https://www.mext.go.jp/sports/b_men/sports/mcatetop01/list/detail/jsa00021.html

事例紹介 沖縄アリーナ（スポーツ・イベント施設）



- 対策内容** 基本的な入館時のサーモグラフィでの検温や消毒、低オゾン発生機20台を設置、除菌吹き上げなどを実施。
入場口が分かれている、VIP用導線の活用など、人と人との接触を避けた誘導が可能。
- 実施事例** 日本生命カップ2021（沖縄大会）バスケットボール男子日本代表国際強化試合を開催。オリンピック直前の国際基準をクリアした感染症対策の実施。Bリーグ公式試合会場。



<https://okinawa-arena.jp/>

沖縄MICE受入事業者の対策

掲載ガイドラインは業界ごとのものになっています。各受入事業者で独自のガイドラインに基づいて対策している場合がございますので、詳細については直接ご確認ください。

08 MICE関連サービス



〔主な取り組み〕

沖縄県通訳案内士会

- ・通訳案内士は常にマスクを着用し、体調管理に務める
- ・バス・タクシーなど車内の換気やマイクなどの除菌等、お客様と乗務員の感染予防対策を徹底する
- ・観光地の混み合う時間を避けてお客様に最良な旅程を提案する

日本青年会議所

- ・参加者への新型コロナウイルス接触確認アプリの推奨
- ・個人情報保護に留意し、参加者把握シート等を活用し、参加者の氏名、年齢、住所及連絡先を把握し、名簿を作成する

沖縄通訳案内士会
新型コロナウイルス感染防止安全対策



<http://www.oiga.jpn.com/>

公益社団法人日本青年会議所
カンファレンス開催ガイドライン



<https://www.jaycee.or.jp/2021/guideline>

沖縄MICE受入事業者の対策

掲載ガイドラインは業界ごとのものになっています。各受入事業者で独自のガイドラインに基づいて対策している場合がございますので、詳細については直接ご確認ください。

08 MICE関連サービス

【主な取り組み】

日本コンベンション協会

- ・感染リスクを洗い出し、それぞれのリスクに応じた対策を行う
- ・参加受付の機械化・無人化・キャッシュレス決済、事前予約制導入、ハイブリッド開催など新しいテクノロジーやシステム・技術等を活用し、感染拡大防止に役立てる
- ・開催自治体、コンベンションビューローへの開催機運の醸成や、開催地としての協力や支援を依頼する
- ・会期前から会期後まで、各場面ごと、役割ごとに細かな感染防止対策を示し、確認を行う

一般社団法人
日本コンベンション協会
新型コロナウイルス感染症禍における
MICE開催のためのガイドライン



<https://jp-cma.org/information/564/>

事例紹介 一般財団法人沖縄県環境科学センター



対策内容 MICE施設でのプロレスイベント開催における独自の感染症対策の立案および実施。
実施事例 県内外より集う選手及びスタッフ全員のPCR検査を実施し、陰性を確認した上でプロレスイベントを開催。エアロゾル感染のリスク低減の観点から、換気状況の指標である施設内のCO₂濃度をモニタリングし、適切な換気量を調整。次亜塩素酸水を噴霧する機器を用いて、ゲストの入退場およびイベント開催前後にリングや椅子等の設備をくまなく除菌。その他、飛沫、エアロゾルの発生抑制のための独自応援ルール（声を出さず拍手するなど）を設定。
※同イベントは(一財)沖縄県環境科学センターと(株)琉球ドラゴンプロレスリングの両者が協働で実施した自主業務です。



<https://www.okikanka.or.jp/kankyousdgs/news/20210412/index.html>

沖縄MICE受入事業者の対策

掲載ガイドラインは業界ごとのものになっています。各受入事業者で独自のガイドラインに基づいて対策している場合がございますので、詳細については直接ご確認ください。

09 飲食

① 店舗

【主な取り組み】

全国生活衛生同業組合中央会

- ・従来から取り組んでいる衛生管理の徹底
- ・入口における手指消毒用消毒液の設置
- ・適切な換気設備の設置及び換気の徹底
- ・飛沫感染・接触感染を防止するため十分な間隔をとることが重要なことから、混み合う場合は入店制限を行う
- ・テーブルは真正面の配置を避けるか、パーティション（アクリル板等）を設置する
- ・飲食時以外のマスク着用への理解を求める案内の掲示
- ・スプーン、お箸、食器などの共有、使い回しを避けるよう注意喚起を行う
- ・お酌や盃の回し飲みは避けるよう掲示する
- ・ビュッフェやサラダバー及びドリンクバーは食品・ドリンクを保護、トング等は頻りに消毒もしくは交換するか手袋の着用を促す
- ・入れ替え時のテーブル等の消毒

② バンケット

【主な取り組み】

沖縄県ホテル旅館生活衛生同業組合

- ・参加人数、滞在時間の制限、席の間隔に留意
- ・料理提供者の手指消毒の徹底
- ・大皿料理を個人のスプーンや箸等で取ることを控えるよう要請
- ・ビュッフェ方式で食事を提供する際は、料理を小皿で提供する、スタッフが取り分ける、お客様ひとりひとりに取り分け用のトングやお箸を渡し、使用後に回収・消毒する
- ・ドリンクはボタンやピッチャーの持ち手の清拭消毒、スタッフが手袋を着用の上注ぐ



全国生活衛生同業組合中央会
食堂・レストラン、喫茶店等
外食業持続継続のためのガイドライン



<https://www.seiei.or.jp/chuoukai/syoukai.html>

沖縄県飲食業生活衛生同業組合
飲食業における新型コロナウイルス
対応ガイドライン



https://shima-gourmet.jp/record_details/gaidorain/

沖縄県ホテル旅館生活衛生同業組合
宿泊施設における新型コロナウイルス
対応ガイドライン



<http://www.oah-net.or.jp/news/index.cgi?mode=list&pline=25&lline=0>

沖縄MICE受入事業者の対策

掲載ガイドラインは業界ごとのものになっています。各受入事業者で独自のガイドラインに基づいて対策している場合がございますので、詳細については直接ご確認ください。

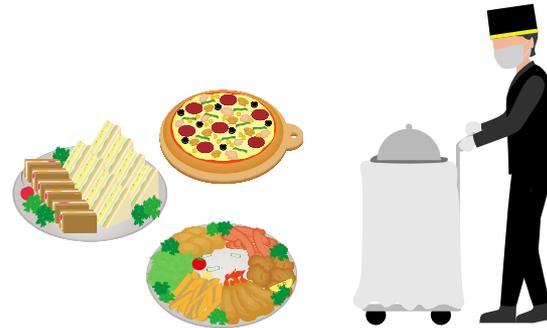
09 飲食

③お弁当・ケータリング

【主な取り組み】

全国生活衛生同業組合中央会

- ・従来から取り組んでいる一般的な衛生管理の徹底
- ・食品を扱う者の健康管理と衛生管理を徹底する
- ・料理の受渡しは必ず手指を消毒してから行う
- ・配達する料理の容器は、配達員が直に触れないよう袋等に入れ、配達に使用する運搬ボックス等は使用の都度消毒する
- ・食中毒等の防止のため、料理は早めに消費するよう、口頭もしくは注意書きを添えてお客様に注意を促す



全国生活衛生同業組合中央会
食堂・レストラン等
外食業持続継続のためのガイドライン



<https://www.seiei.or.jp/chuoukai/syokukai.html>

沖縄県飲食業生活衛生同業組合
飲食業における新型コロナウイルス
対応ガイドライン



https://shima-gourmet.jp/record_details/gaidorain/

沖縄MICE受入事業者の対策

掲載ガイドラインは業界ごとのものになっています。各受入事業者で独自のガイドラインに基づいて対策している場合がございますので、詳細については直接ご確認ください。

10 アフターMICE



①ショッピング

〔主な取り組み〕

日本小売業協会

- ・店舗における感染予防対策の徹底
- ・顧客や従業員が手を触れることが多い箇所・機材等は定期的に消毒を実施
- ・局所的な混雑緩和や接触機会を削減する商品陳列の工夫
- ・掲示やアナウンスによる顧客への注意喚起

②ゴルフ

〔主な取り組み〕

一般社団法人 日本ゴルフ場経営者協会

- ・施設館内へのアルコール消毒液の設置
- ・スタッフのマスク着用義務化
- ・クラブハウス、レストランの換気
- ・シーサーステッカーの取得

日本小売業協会
小売業の店舗における
新型コロナウイルス感染症
感染拡大予防ガイドライン



<https://japan-retail.or.jp/>

一般社団法人 日本ゴルフ場経営者協会
新型コロナウイルス
感染防止ガイドライン



<https://www.golf-ngk.or.jp/news/>

沖縄MICE受入事業者の対策

掲載ガイドラインは業界ごとのものになっています。各受入事業者で独自のガイドラインに基づいて対策している場合がございますので、詳細については直接ご確認ください。

10 アフターMICE

③ 観光施設

【主な取り組み】

一般社団法人美ら島観光施設協会

- ・ 店舗・施設における基本的な感染症拡大防止策の実施
- ・ 来園者の感染防止対策
- ・ 施設入口やHP等におけるガイドライン提示

一般社団法人美ら島観光施設協会
観光施設における新型コロナウイルス
対応ガイドライン



<http://churaoki.com/news/20200618.html>

事例紹介 LEQUIOS THEATER IN MIHAMA (体験イベント)



- 対策内容** 感染症拡大防止対策を徹底し、入場制限や来場者の管理を行い、スタッフによる声掛けなどでゲストへのきめ細やかな体調チェックなどを実施。イベント実施後2週間は次の公演を行わずスタッフ、ゲストに感染がないかなどの確認期間を設定。
- 実施事例** 県外参加者を含む謎解きイベント（1ヶ月600名）ゲスト50席/回で演劇の実施。



<https://www.ashibi-ent.com/>

事例紹介 古宇利オーシャンタワー (観光施設)



- 対策内容** 施設全体で感染症拡大防止対策を徹底し運営している。文字だけではなくピクトグラムなどで、誰が見てもわかるように表示。細やかな声掛けでお客様がどこから来たのかなど、施設で何を見たのかなど行動の確認をコロナ前から実施。分析に生かしている。注意喚起ではなく、施設のイメージに合わせ、できるだけかわいく、楽しく対策の呼びかけを実施している。
- 実施事例** MICEのユニークメニューとして、特別な体験も含めた提案の実施。



<https://www.kouri-oceantower.com/>

開催前の相談窓口

大規模イベント開催について

参加者が5,000人超かつ収容率50%超のイベントを開催する際には、沖縄県に対して感染防止安全計画の提出及び結果報告を行うこととなっております。以下アドレス(受信専用)に、メールにて必要書類を送付してください。

沖縄県HP
「イベントの開催制限等について」



<https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/chijiko/kohokoryu/koho/20200828.html>

Email aa090808@pref.okinawa.lg.jp

到着後の抗原検査・PCR検査について

沖縄県に来訪する際、出発地において事前のPCR検査を受けていない方で、希望者を対象に那覇空港においては抗原検査・PCR検査、県外からの直行便の就航する離島空港においてはPCR検査を実施しております。申し込み前の事前相談は、以下お問い合わせ先までご連絡ください。



那覇空港における抗原検査・PCR検査について

電話 098-840-1337 営業時間 9:00~20:00 [無休]

※離島空港での検査については、以下URLから専用サイトへアクセスの上、各離島空港へお問い合わせください。

https://www.okinawastory.jp/covid19/travel_support/

感染者が出た場合の相談窓口



旅行者専用相談センター沖縄（TACO）

電話 098-840-1677 営業時間 8：00～21：00 [無休]

医療機関に直接行くことは避ける。上記相談窓口相談する

- ・指定施設（宿泊施設・医療機関等）への移動を伴う場合、移動手段など事前の対策を準備する。
- ・対象者が触れた箇所や待機した部屋は、換気を行い、十分な消毒清掃を行う。

MICE参加者に感染者が出た時（37.5度以上の発熱時）

対象者の体調に留意し、正確な状況を把握するとともに、パニックにならずに冷静に以下の対応を行う

来場前であれば宿泊施設で待機指示  その後の症状を踏まえ相談窓口相談するように促す

来場後の発熱であれば速やかに他の参加者から隔離する  受入会場と事前に隔離するための部屋を確保する

県のコールセンター、保健所では以下の内容が確認される。

日頃から検温の記録や直近48時間の行動履歴を残し、正確な情報の提供に心がける

〔想定される確認事項〕

現在の症状

熱は何度か？何日以上続いているのか？咳や倦怠感など

状況の確認

症状が出る前にどんな行動をしたのか。症状が出てから出勤したか、どのくらいの人と接触があったか

医療機関への相談

かかりつけ医には相談したかなど



その他

感染症対策用品等レンタル事業者一覧

企業・店舗名 (五十音順)	検温(サーモカメラ 非接触型体温計等)	飛沫感染症防止対策 (パーティション等)	消毒液スタンド等	企業情報	
				TEL	HP
株式会社アイレント	○	○	○	0120-190-009	https://www.arent.co.jp/
株式会社沖縄電子	○			098-898-2358	https://okinawadenshi.co.jp/
コユーレンティア 株式会社 (沖縄営業所)	○	○	○	098-890-1311	https://www.koyou.co.jp/
ダスキ レントオール 南風原ステーション	○	○	○	098-888-5291	https://event.kasite.net/
レントオール沖縄	○	○	○	098-992-0356	https://okinawa-rentall.jp/

沖縄に観光・MICEで来ている外国人への案内

VISIT OKINAWA JAPANでは、沖縄を訪れた外国人観光客向けに多言語で新型コロナウイルスに関する情報を発信しています。

VISIT OKINAWA JAPAN

<https://www.visitokinawa.jp/news/about-coronavirus-disease>

日本政府観光局 (JNTO) ※外国人観光客への緊急時案内

対応時間：365日、24時間対応言語：英語・中国語・韓国語・日本語
緊急時案内（病気・事故等）、災害時案内、一般観光案内

Japan Visitor Hotline 電話：050-3816-2787





『おわりに』

新型コロナウイルス感染症の影響が広がった現在では、人の行来や大人数が一堂に会することに制限が設けられ、MICEを取り巻く環境はそれ以前と比べ大きく変化しました。一方でオンラインでのコミュニケーションが余儀なくされた今だからこそ、リアルなコミュニケーションでしか享受できない価値の再評価もなされています。そのような状況下で、本ガイドラインはウィズコロナ～ポストコロナにおける安全・安心な「沖縄MICE」開催の指針とするために作成いたしました。

沖縄MICEネットワークでは、ひらめきや創造性と出会える場所「沖縄」で、みなさまのMICE開催を心よりお待ちしております。これまでも、そしてこれからも。

会場やコンテンツなど沖縄MICE開催に係る各種お問い合わせは一般財団法人 沖縄観光コンベンションビューローが運営する「おきなわMICEナビ」からお気軽にどうぞ！

<https://mice.okinawastory.jp/>



本ガイドラインに関するお問い合わせは、以下にご連絡ください。

沖縄MICEネットワーク事務局（一般財団法人 沖縄観光コンベンションビューロー内）

Email info@okinawamicenetwork.jp 電話 098-851-3765

作成 2021.11.30
更新 2022.10.03

発行：沖縄MICEネットワーク

別添資料：沖縄MICE開催チェックリスト

「主催者用」「受入事業者用」に分け、出発前から帰宅後まで、各業界別ガイドラインの確認事項を基に、沖縄MICE一連の流れに沿って作成したチェックリストです。
きめ細やかな確認作業を運営側、受入側双方で行うことで、より安全・安心なMICEの運営にお役立てください。

沖縄MICE開催の流れに沿ったチェックリスト

～主催者用～

○ 出発前

主催者から参加者へ

- 沖縄現地の感染状況の共有・注意喚起
- 来沖2週間前から体温チェック・行動履歴記録の呼びかけ
- 参加者のワクチン接種有無の確認
- (ワクチン未接種者への) 来沖前のPCR検査の呼びかけ
- 沖縄滞在中の緊急連絡先の周知
- 催事前後の行動注意 (認証店の活用を推奨)
- 買い物の際など、非接触アプリの活用呼びかけ
- 基本的な感染症対策 (マスク着用、手指消毒、三密回避等) の呼びかけ

主催者から現地受入事業者へ

- 沖縄現地の感染状況の確認・最新情報共有
- 現地におけるMICE等開催条件等の確認 (キャンセルポリシー等)
- 利用施設等における感染症対策ガイドライン等の確認
- (必要に応じて) 「感染防止安全計画」の提出
※本ガイドラインP15,27参照
- 利用施設等における感染リスク軽減のための取組み強化 (非接触型機器等の導入・三密回避等)
- 近隣保健所・医療機関等の確認

○ 到着・移動

主催者から参加者へ

- (ワクチン未接種者・発地におけるPCR検査未実施者への) 空港でのPCR検査・抗原検査実施の周知
- COCOA、RICCA等アプリを活用した最新情報入手の呼びかけ
- 各移動手段機関における感染症対策ガイドラインの共有
※本ガイドラインP17,18参照
- 三密を避けた分散移動の呼びかけ
- 宿泊施設、MICE会場への速やかな移動の呼びかけ

主催者から現地受入事業者へ

- 各移動手段機関における感染症対策ガイドラインの確認
※本ガイドラインP17,18参照
- ※各契約企業におけるガイドラインの確認
- 指定宿泊施設における感染症対策ガイドラインの確認
※本ガイドラインP18参照
- ※各契約宿泊施設におけるガイドラインの確認

○ 準備日～

※会場側と十分に調整しながら進める

主催者確認事項（会場）

- 施設のガイドライン確認 ※本ガイドラインP19～22参照
- 会場における換気状況の確認
- 会場各所へ手指消毒液設置
- 手洗い場はポンプ式石鹸、ペーパータオルの設置
 - ※会場にて準備がある場合は不要
- 参加者の身体的距離を確保し、動線の集中を避けた会場案内・会場配置の確認
- 設営・リハーサルの十分な時間設定。密な空間を避ける
- 近距離にて人と人が対面する場所は、アクリル板等を設置
- 体調不良者用の体調チェックシートの準備
- 出入口に非接触型体温計等、参加者の体調管理を確認できる機器等の設置
- パンフレット、チラシ、アンケート等の手渡し配布回避。必要配布分を一式にして設置するなど工夫する。参加者各自で受け取る
- 休憩スペース、待機スペース、控室、楽屋等における3密回避
- クローク等における感染症対策確認
- 会場清掃、ゴミ回収の頻度等について会場側と調整する
- 感染者発生連絡チェックシートの準備
- 関係者間で緊急事態体制網の共有

○ 当日

※会場側と十分に調整しながら進める

主催者から参加者へ

- 受付窓口で来場者への検温と手指消毒剤による消毒の呼びかけ
- 予備マスクの設置
- 体調不良者用の体調チェックシートの受付設置
- 出入口、受付付近での人の密集を避けた案内の実施
- 設営・リハーサルの十分な時間設定。密な空間を避ける
- 新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA・RICCA)の推奨。会場内における案内
- 休憩時間、昼食時間等に十分な時間を取り、分散して案内する
- 体調不良者、感染が疑わしい参加者が発生した場合は速やかに隔離し、医務室の医師またはTACOへ確認する
- 十分な人員配置を行い、参加者で感染症防止対策を守らない行為があった際に個別に注意等を行う

○ 会場内飲食関連

※会場側と十分に調整しながら進める

主催者から参加者へ

- 施設のガイドライン確認 ※本ガイドラインP23,24参照
 - 事前登録制とする
 - 実施時間の短縮、完全入れ替え制などの導入
 - 飲食前の手洗い、手指消毒の徹底
 - 食事以外はマスク着用の呼びかけ
 - 三密を避け、十分な距離を取っての飲食の徹底※1m以上
 - 着席形式の導入
 - 現地の状況を踏まえた規制の周知
- ※アルコール提供可否等
- 感染症対策に関する会場アナウンスや掲示の実施
 - 感染リスク軽減を考慮した飲食物の提供
 - ※ビュッフェではなく弁当や個別提供、ビュッフェの場合は十分な感染症防止対策を行うなど
 - ビュッフェにおける小皿提供の場合は専属スタッフが手洗い、手指消毒を実施して配布。もしくは参加者が各自で受け取る
 - トング等共有ツールのこまめな取替、もしくは手指消毒剤の設置（食品の近くに設置するものは食品添加物由来のものなど考慮する）
 - 飲食エリアは対策を講じた場所、時間に限定する

○ アトラクション等

※会場側と十分に調整しながら進める

主催者から現地受け入れ事業者へ

- 施設やMICE関連サービスのガイドライン確認 ※本ガイドラインP21,22参照
- 関係者挨拶やアトラクションを行うステージと参加者の距離は（可能な限り）2 m以上確保する。
- 演台におけるアクリル板等の設置（三方）、マイクの使い回しを避けるなど十分な対策を行う
- 大声を発するアトラクションは控える
- 映像によるアトラクション提供など、感染症対策を兼ねた演目を工夫する
- 参加外国人等へのウィスパリング 通訳では、通訳者との距離を確保するために、無線システム機材等の使用を検討する
- 演者と参加者が催事前後や休憩時間に接触しないようにする

○ 宿泊施設

主催者から参加者へ

- 各施設における感染症対策ガイドラインの共有
- 同居家族以外との同室宿泊へ注意喚起
 - ※常にマスクを着用、タオルや寝具などの共有を避ける、こまめな室内換気など
- 集団での部屋飲みの禁止
- 宿泊者が体調不良時は（同行者も）客室内で待機し、
 - TACOへの連絡を行うよう指示する
- 検査施設や医療機関への移動は、公共交通機関ではなく、
 - ハイヤー・タクシー及びレンタカーを使用する

主催者から現地受入事業者へ

- 宿泊施設における感染症対策ガイドラインの確認
 - ※本ガイドラインP18参照
 - ※各契約企業におけるガイドラインの確認
- MICE関係宿泊者が感染の疑いがある際は、主催者へ情報共有がなされるよう、緊急時体制網を共有する

○ アフターMICE・観光施設

主催者から参加者へ

- 観光施設における新型コロナウイルス対応ガイドラインの共有 ※本ガイドラインP25,26参照
- 沖縄県の感染状況により閉館している施設もあるため、事前に確認するよう呼びかける
- ツアーなどに参加する際には、各自感染症対策の徹底を呼びかける
- 観光時の行動履歴をメモするよう呼びかける
- 体調不良時には観光をしないよう注意喚起する
- 指定宿泊施設における感染症対策ガイドラインの確認
 - ※本ガイドラインP18参照 ※各契約宿泊施設におけるガイドラインの確認
- 感染防止対策認証店の利用を促す
- 移動の交通機関で密集を回避するため、分散利用や予約システムの活用を促す

○ 会期後

主催者から参加者へ

- 感染が疑われる参加者・運営関係者が発生した場合は、保健所等公的機関による聞き取りに協力し、必要な情報提供を行う旨、理解を求める

主催者から現地受入事業者へ

- 感染が疑われる参加者・運営関係者が発生した場合に、保健所等の指示に従い、現地関係者への情報共有等を行う

沖縄MICE開催の流れに沿ったチェックリスト

～受入事業者用～

○ 予約時

事業者から主催者へ

- 沖縄現地の感染状況の確認・最新情報共有
- 現地におけるMICE等開催条件等の確認（キャンセルポリシー等）
- 利用施設等における感染症対策ガイドライン等の確認
- 利用施設等における感染リスク軽減のための取組み強化の依頼（非接触型機器等の導入・三密回避等）
- 同時開催催事等の情報共有
- 第三者の認証取得情報共有（県の感染防止対策認証店、GBAC STAR™認証など）
- 感染防止のため受入事業者のガイドライン遵守、指示に従うことの意味確認
- 利用終了後2週間以内に、利用者が新型コロナウイルス感染症を発症した場合の、速やかな報告、濃厚接触者の有無等の確認への同意
- （必要に応じて）「感染防止安全計画」の提出
※本ガイドラインP15,27参照
- 参加者への接触確認アプリ（COCOA・RICCA）等通知サービス活用の呼びかけ

○ 利用受入時①

事業者から主催者へ

- 沖縄現地の感染状況の確認・最新情報共有
- 感染防止のため受入事業者のガイドライン遵守、指示に従うことの意味確認（再確認）
- 緊急時の連絡体制等の共有
- 近隣保健所、医療機関等の確認
- 発熱や咳症状など、感染と疑われる症状がある利用者は入場しないよう呼びかける等事前対策の徹底
- 体調不良者を隔離する部屋等の確保
- 人と人が対面する場面におけるアクリル板、透明ビニールカーテンなどの設置、確認
- 受付における混雑を避ける取り組みの強化、確認（最低1m、可能であれば2mの距離を保つ目印等、必要であれば入場制限を行う）
- 手指消毒、マスク着用の徹底
- 展示ホール等における通路幅は3mまたはそれ以上を推奨。来場者が密にならない空間を確保する
- マイクやポインターなど、共用する備品は使用の度に消毒する

○ 利用受入時②

セミナー・シンポジウム・式典等

- 登壇者・司会者の演台に飛沫防止の亚克力板等を（三方に）設置、または登壇者と聴講者最前列の距離は、飛沫到達距離である2 m程度空ける
- 登壇者もマスクをした上で講演することを推奨する
- 聴講者間距離は前後1 m、左右は1名分程度空けスペースを確保する
- セミナーなどは、ドアの開放、オープンスペースでの実施による密閉防止対策と換気、中継会場などを設置し、来場者を分散するよう工夫する
- 登壇者が使用するマイクや共用するパソコンやポインター等の備品は、毎回消毒を行うよう徹底する
- 感染防止のために、聴講者が自ら使用する筆記用具や、水などは各自で用意してもらうよう主催者と調整する

○ 感染者等把握のための確認

□ 主催者から参加者に関する以下の事項を記載した書面の提出を求める

※情報の取得に関しては、主催者側と十分に調整し、非接触型アプリ（COCOA・RICCA）を利用していない参加者向けに準備する。確認事項はサンプルであり、必要事項の追加、削除は各施設の特性等を勘案し調整する。

□ 氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号）

※個人情報の取扱に十分注意する。催事終了後一定の期間保管後は破棄などのルールを定める。

□ 利用当日の体温（会期中毎日）

□ 利用前2週間における以下の事項の有無

□ 平熱を超える発熱

□ 咳、のどの痛みなどの風邪の症状

□ だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）

□ 嗅覚や味覚の異常

□ 身体が重く感じる、疲れやすいなどの症状

□ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無

□ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

□ 過去14日間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

○ 受入施設準備事項①

手洗い場所

- 手洗い場には石鹼（ポンプ式が望ましい）を用意すること
- 「手洗いは30秒以上」などの掲示をすること
- 手洗い後手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を必要に応じて用意。利用者の多い催事に関しては、主催者側にも準備してもらうなどの調整を行う
- 手洗いが難しい箇所は、アルコール等の手指消毒用液を用意する
※アルコール等が使用できない人への配慮も検討する

催事利用者用休憩スペース（更衣室）

- 広さにゆとりを持たせ、他の利用者とは密にあることを避ける
- ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する利用者の数を制限する等の措置を講じる
- 室内又はスペース内で複数の利用者が触れると考えられる場所については、こまめに消毒する
- 換気に配慮する
- 入退室の前後での手洗いを促す（手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を設置）

○ 受入施設準備事項②

トイレ内洗面所

- トイレ内の複数の利用者が触れると考えられる場所については、こまめに消毒すること
- トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示すること
- 手洗い場には石鹼（ポンプ型が望ましい）を用意すること
- 「手洗いは30秒以上」などの掲示をすること
- 手洗い後手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を必要に応じて用意。利用者の多い催事に関しては、主催者側にも準備してもらうなどの調整を行う
- 利用者が密な状態になる恐れのある場合は、入場制限を行う。もしくは休憩時間の分散を主催者に配慮を求める
- 換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮すること
- 食後のハミガキなどについても、感染リスクに留意するよう注意喚起の掲示をする

施設の入口

- 可能であれば入口、出口を分け、人の流れを一方通行にする
- 手指の消毒設備を設置する
- 施設利用時の利用者が遵守すべき事項のチェックリストを掲示する。もしくは内容を確認できるWEBサイトのURL、QRコードを提示する

○受入施設準備事項③

清掃・消毒

- 通常の清掃に加え、MICE開催中もこまめに見回りを行い、複数の利用者が触れると考えられる場所については、こまめに消毒を行う
- 各施設・業界における感染症対策ガイドラインの確認 ※本ガイドラインP15～26参照

スタッフの管理等

- 発熱又は風邪等の症状がみられるスタッフについては、出勤を自粛すること
- ユニフォームや衣服はこまめに洗濯すること
- 緊急時の体制等について、事前に事業所内で十分な話し合いを行うこと
- スタッフへの検査の推奨

飲食物の提供について

- 飲食物を取り扱うスタッフには、手指消毒の徹底、マスクの着用をさせる
- 利用者が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう注意喚起する
- 飲食場所は限定し、密にならないよう時間差利用、入場制限を行う
- 飲料は、ペットボトル・ビン・缶や使い捨ての紙コップを提供する
- アクリル板等の設置または座席間隔（最低1m以上推奨）の確保
- メニューのデジタル化など非接触機器等の導入を検討する

○会期後

- 主催者より、感染が疑われる参加者・運営関係者が発生した場合は、保健所等公的機関による聞き取りに協力し、必要な情報提供を行う。また、自社出入り業者等への速やかな情報提供を行う

○その他

- 自社及び外注先スタッフに接触確認アプリ（COCOA・RICCA）等のインストール、稼働の徹底
- 密閉型の喫煙所は使用禁止とし、屋外の風通しの良い喫煙所のみを使用許可する。密状態にならないように注意する張り紙等を掲示する
- 感染疑い者発生時マニュアルの作成について、主催者と協力して対策についての役割分担、責任範囲、感染疑い発生時の手順や担当者、管轄保健所、旅行者相談センター(TACO)の電話番号等が記載されているマニュアルを作成し周知徹底を図る
- 可能な限り非接触型機器等の利用を促す。また、それらの備品を施設で揃える、または貸し出し可能な業者をリストアップする
- 感染対策の実施状況をHP等で積極的に公表する